

◇◇◇ 令和8年 鹿児島県立短期大学卒業制作講評会 ◇◇◇

「 2 Stories -けんたん けんちく こうひょうかい- 」

- 開催日時 : 令和8年3月14 (土) 14:00~16:00
- 会場 : かごしま環境未来館2階 多目的ホール
- 参加費 : 無料
- 対象 : 一般・会員及び学生
- 主催 : 一般社団法人 民家再生協会 かごしま

会 次 第

- | | | |
|--|-----------------------------------|-------------------------|
| 1. 開 会 | 司会進行：一般社団法人 民家再生協会 かごしま 代表理事 栄 文弘 | (予定時間)
14:00 ~ 14:05 |
| 2. プレゼンテーション・講評 | | |
| ◇ 「ひとやすみの森」 | | 14:05 ~ 14:20 |
| ~お墓参りという行為の再構成~ | | |
| 鹿児島県立短期大学生生活科学専攻建築デザイン研究室所属2年 泊口 結愛 (とまりぐち ゆな) | | |
| 講評：小森 昌章 (こもり まさふみ) / 協会理事 / 一級建築士 | | |
| ◇ 「走る街のとなりで」 | | 14:20 ~ 14:35 |
| ~城山の3rd place 化計画~ | | |
| 鹿児島県立短期大学生生活科学専攻建築デザイン研究室所属2年 南 花凜 (みなみ かりん) | | |
| 講評：瀬畑 龍郎 (せはた たつろう) / 協会会員 / 一級建築士 | | |
| ◇ 「鹿児島 Re 空き家ワークショップ 利活用提案」 | | 14:35 ~ 14:50 |
| ~広がる空き家の活用と結びつき~ | | |
| 鹿児島県立短期大学生生活科学専攻建築デザイン研究室所属建築サークル「arch」1年 | | |
| 木田 穂花 (きだ ほのか) | | |
| 門 星夏 (かど せいか) | | |
| 講評：栄 文弘 (さかえ ふみひろ) / 協会理事 / 一級建築士 | | |
| 3. 総 評 | 一般社団法人 民家再生協会 かごしま 代表理事 栄 文弘 | 14:50 ~ 14:55 |
| | (休憩) | |
| 4. 交流会 | | 15:05 ~ 16:00 |
| 作品模型/プレゼンボードの確認及びプレゼンター並びに参加者による質疑応答、歓談など | | |
| 5. 閉 会 | | 16:00 |

2 stories

- けんたん けんちく こうひょうかい -

鹿児島県立短期大学卒業制作展評会

日程 2026年3月14日(土)

会場 かごしま環境未来館
2階多目的ホール/鹿児島市城西2丁目1-5

時間 14:00~16:00
開場 13:30~

参加費 無料

主催 一般社団法人 民家再生協会かごしま

プレゼンテーマ

- 1.ひとやすみの森
-お墓参りという行為の再構成-
- 2.走る街のとなりで
-城山の3rd place化計画-
- 3.鹿児島Re空き家ワークショップ

目まぐるしく動く世の中。
地球の限界と人々の躍進を同時に感じる日々。

そんな未来に、私たちができることはなんだろう。

計り知れない未来への期待と不安が入り混じる中、私たちは大学生になった。

ただ「学びたい」という意欲を持って入学した鹿児島県立短期大学。

正解の見えない時代で、何を考え、何を作るべきなのか。迷い、悩みながらも、私たちの歩みは止まらない。

仲間とともに悩み、たくさん語り合って、たくさん笑い合って、たくさん支え合って、目の前にある今を、駆け抜けてきた。

私たちが信じ、学び続けた集大成。

私たちがこの期間で身につけたもの、形にした作品はきっと未来の良い方向につながっていく。そう、信じたい。私たちのものがたりをたくさんの人に届かせたい。ぜひ足をお運びください。エネルギーあふれる卒業間際の私たちが、卒業設計作品をご説明させていただきます。

変わり続ける世界が、みなさまの明日が、ちょっと明るくなるような時間になれば幸いです。



2 stories -けんたん けんちく こうひょうかい-

～鹿児島県立短期大学 生活科学専攻 建築デザイン研究室所属 2年生による卒業制作発表会～（指導：穴戸教授・田野准教授）

令和8年3月14日

1	プレゼンテーマ	ひとやすみの森		
	サブテーマ	お墓参りという行為の再構成		
	発表者	泊口 結愛 (とまりぐち ゆな)	講評者	小森 昌章
	コンセプト	鹿児島は先祖を大切にしている県民性があり、独自のお墓のかたちまである。しかし、その事実を知っている県民はどれ程いるのだろうか。家族に連れられていく、年中行事としての意識が強いお墓参りを、これからの時代を生きる人間として日常に寄り添うようにするためのお墓の新たな構想を提案し、この文化を未来に繋げてゆく。		
2	プレゼンテーマ	走る街のとなりで		
	サブテーマ	城山の 3rd place 化計画		
	発表者	南 花凜 (みなみ かりん)	講評者	瀬畑 龍郎
	コンセプト	鹿児島で育った原風景と「何もないまち」という言葉への違和感を出発点に、城山を現代のサードプレイスとして再解釈する計画。歴史と自然を継承しながら、「接・留・望」の三つの居場所を通して、登らずとも滞在できる、鹿児島のみちの日常に寄り添う空間へと更新する提案である。		
3	プレゼンテーマ	鹿児島 Re 空き家ワークショップ 利活用提案		
	サブテーマ	広がる空き家の活用と結びつき		
	発表者	門 星夏・木田 穂花 (かど せいか・きだ ほのか)	講評者	栄 文弘
	コンセプト	空き家の増加は地域の課題である一方、そこには人と人を結ぶ場所としての可能性がある。空き家をきっかけに生まれる新たなつながりが、地域に小さな循環と居場所を生み出す。本計画では、ワークショップを通じて薩摩川内市高江町にある空き家の活用方法を考え、空き家を地域交流の拠点へと転換することを目指す。		